

- ◇2022年も終わろうとしている年の瀬ですが、「師走」という字のごとく会員諸氏にもお忙しい日々をお過ごしかと推察します。編集委員会でも任期を全うし卒業される予定の委員各位が後釜を探し回るシーズンです。本年は、本誌の電子化があり、また編集システムである ScholarOne の導入があり、新委員への引き継ぎが難しいかもしれないと、杞憂ですね。
- ◇本会の行事もオンラインからオンサイト（対面）にだいぶ戻ってきたようです。討論会や年会、また各支部の行事でも対面を含んだハイブリッドを活用しているものが散見されます。討論会で初めて試みられた口頭発表会場のストリーミング配信では、休憩室で複数会場を聴講という強者もいたと聞き及びました。「とびら」で触れている変化の受け入れも、こうした形もあるのですね。
- ◇来たる新年、悪い方の変化が良い方に変化することも期待します。コロナ禍やウクライナ情勢、これだけが原因ではないでしょうが、研究に必要な消耗品がなかなか納入されないことも多いです。そうした状況も踏まえて計画を立てなければならぬのも変化してほしいです。
- ◇それでは皆様、是非とも良いお年をお迎えてください。

(T. T.)

〈とびら〉

学会改革の継承を期待して……………早下隆士

〈入門講座〉 分離技術：原理から最新技術まで

溶媒抽出……………藤永 薫

〈解 説〉

海水を対象としたトリチウムの分析方法とその実測例
……………城谷勇隆・神林翔太・及川真司

〈ミニファイル〉 マイクロ・ナノの分析化学

概論・基礎……………火原彰秀

〈話 題〉

生薬成分解析における高速液体クロマトグラフ
—フーリエ変換型質量分析計の活用……………大月興春

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)	東海林 敦 (東京薬科大薬)	菅 寿美 (海洋研究開発機構)
〈副委員長〉 菅沼こと (帝人(株))	村居景太 (株共立理化学研究所)	
〈理事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)	稲川有徳 (宇都宮大院地域創生科学)	岩井貴弘 (理化学研究所)
〈幹事〉 坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	齊藤和憲 (日本大学生産工)	高橋あかね (オルガノ(株))
富岡賢一 (三菱マテリアル(株))	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
〈委員〉 市場有子 (ライオン(株))	中原佳夫 (和歌山大システム工)	野間誠司 (佐賀大農)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
田中佑樹 (千葉大院薬)	宮下振一 (産業技術総合研究所)	森 勝伸 (高知大理工)
永谷広久 (金沢大院自然科学)	山崎由貴 (国立医薬品食品衛生研)	
福島健 (東邦大薬)		
三浦篤志 (北大院理)		
森山孝男 (株リガク)		

☐ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2022年第12号（通巻576）

2022年12月1日印刷

2022年12月5日発行 定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX：03-3490-3572 振替口座：00110-8-180512

© 2022, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。